

瀬戸・高松広域定住自立圏共生ビジョン懇談会の御意見について

No.	該当項目 (視点)	御意見	市の考え方
1	定住自立圏の将来像	取組をみると、圏域ではやはり瀬戸内海を中心に考えていく必要があり、取組に深みがほしいと考えている。	定住自立圏の将来像に「海」「瀬戸内海」というキーワードを更に取り入れる。
2		交流・連携の中で、海域との結びつきを深めるなど検討することが懇談会の存在意義であると思う。	
3		瀬戸の美を打ち出すような取組が必要だと思っている。また、生活者自身が実感できるネットワークづくりも重要である。	
4	生活機能の強化	産業振興の面で、一次産品とそれを活用できる企業との連携ができるようにすればよいのではと考えている。	定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組については方向性は合致しているので、御意見等を踏まえ、取組内容がより分かり易くなるよう、記載方法を一部見直す。
5		今後は福祉と医療との連携などが重要になってくるのではと考えている。	
6		ファミリーサポート事業はコーディネーターの力量が大きく、コーディネーターの育成やセンターの機能を高めることが必要で女性リーダー育成の取組も考えてほしいと思う。	
7	結びつきやネットワークの強化	海域で離れた地域を考えるに当たっては、情報ネットワークを生活機能、産業とのかかわりをどうするのかということをも情報インフラも含めて検討する必要があると思う。	
8		小豆島の成功例が移住・交流の推進モデルになると思う。	
9	圏域マネジメント能力の強化	定住自立圏の取組も人づくりを第1に考えないと持続可能なものはできないし、圏域マネジメントの強化が大切であり、定住自立圏の根本となるものだと思う。	
10		橋梁の維持管理を研究交流でも扱えるように取組を強化していただきたい。また、瀬戸内の文化を掘り起こして地域特有の高品質なものづくりも重要になってくると考えている。	
11	取組全般	1対1の協定ということで、取組一覧表では星取表になっているので、連携する取組がない町もあると思うのだが分かりにくいと思う。	
12		生活者の視点による取組や縦割りではない、横断的な連携ができればよいと思う。	